

豊かな実りは自然の土壌から

【自然環境農法】

アープ・トーマス・オルガ菌と共に土づくりから
土づくりは、作物を健康に育てる基本です。
この基本を大切に当社は自然環境農法を推進致しております



根菜類栽培の使用方法

(現行栽培ベース)

使用方法 (10a当たり)

	散布時期	通常使用方法
基肥	①前作収穫後か 植付前(早めに)	堆肥や基肥散布後、トーマスくん 5~6ℓ散布し耕起する。 注:病害発生の圃場は 3~4ℓ増しに。
追肥	①生育期初期 ②肥大期初期	トーマスくんと宝水を 2~3 ℓ混合し葉面より散布。

散布は、水 100~150 ℓ程度の水で、均一に土が湿った状態の方が良いです。

施肥関係

※現行の施肥方法で良いですが、堆肥 1~3t を使用した方が微生物、土づくりには良いですからお勧めします。
他の施肥は 2~3 割程度少な目でも良いと思います。



参考に

- ※ 状況が窒素過多気味の時に宝水カル 1,000 倍で 1~2 回散布は効果あり。
- ※ 害虫防除にはバイオ無敵 1000~1500 倍液を全面散布。



栽培途中から使用

栽培前半であれば、使用可能です
500 倍で 20~50 間隔で葉面散布して下さい。



期待できる効果

- ・ 土壌改善 (団粒構造生成)
- ・ 発根促進 (特に毛細根)
- ・ 農薬 (特に殺菌剤) の低減
- ・ 品質 (秀品率) の向上
- ・ 食味向上 他



(株)バイオ・グリーン